

あなたと議会

特集 市内6地区と高校4校で
意見交換会を開催しました



2018
200号
8月24日発行

市政を問う
議会からあなたへ
新議長が就任しました



※7月臨時会の内容も掲載しています。



6月定例会本会議開会前に催された議場コンサート



平成30年度前期 市内6地区で開催しました
市議会では、地域住民の皆さんと直接対話をさせていただくため、各地区で議会報告会・意見交換会を開催しています。平成30年度は前期と後期に分け、市内全地区を回る予定です。
今回は、5月に市内6地区で開催した結果をお知らせします。

～もっと「議会」を身近に～

特集 議会報告会・意見交換会

地区別参加者数

(人)

開催地区	開催日	参加者数	参加者数	
			男性	女性
東部台	5月14日(月)	22	15	7
加 蘇	5月15日(火)	39	34	5
南押原	5月15日(火)	44	39	5
板 荷	5月16日(水)	25	23	2
東大芦	5月17日(木)	37	37	0
菊 沢	5月22日(火)	67	46	21
合計	6地区	234	194	40



質問 人口がどんどん減っているが、議員定数の削減については議論されているのか。
回答 旧栗野町との合併前の36名から随時削減してきており、現在も議会改革特別委員会の中で議論している。議員がいらないことで意見が吸い上げられない

質問 発着所までは車での送迎が必要であり、負担が大きい。運行区間を延伸しなければ子育て世代は出ていってしまう。
回答 市では、スクールバス運行の基準に満たない地区でも、児童が少ないなどの実情を踏まえて対応している。議会としても、

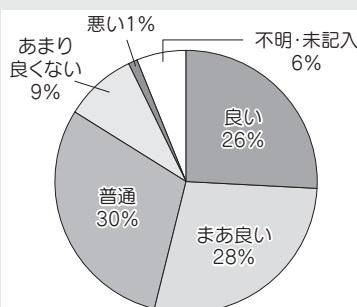
議員定数について
質問 行政視察の報告書は公開されているか。
回答 提出は義務化されている。公開方法は、今後検討したい。

スクールバスの運行について
質問 助成対象を高校生まで拡大できないか。
回答 県の対象は小学生までだが、市では独自に中学生まで助成している。重要な少子化・人口減少対策なので、引き続き訴えていきたい。

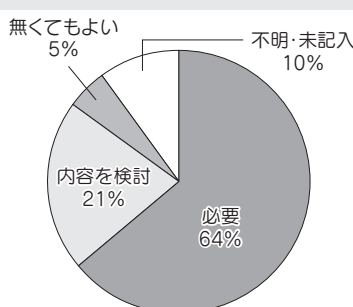
議会活動について
今年度は、議会の概要や主な活動等を説明・報告した後、「少子高齢化・人口減少」をテーマとして、参加者からの質問に答える形で意見交換を行いました。その一部をご紹介します。

子ども医療費について
などの地域格差も生じてしまうので、その点も考慮して検討していきたい。
質問 助成対象を高校生まで拡大できないか。

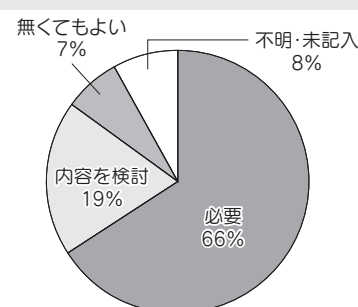
意見交換会の内容



議会の活動についての報告



議会の概要についての報告



グラフで見る
参加者アンケート結果

児童の安全確保や保護者の負担軽減も考慮すべきと考えている。

■地域公共交通について

質問 若年層に住み続けてもらうためには、公共交通を充実させることが重要。市ではリーバスを運行しているが、バス停まで遠い人は乗らない。予約バスも地域や時間帯で制限がある。

回答 地域公共交通について、文教民生常任委員会が調査研究を進めている。すべての需要を網羅するのは難しいので、市民や事業者の意向、先進事例の調査などを踏まえ、市民が利用しやすいシステムを執行部に提案していきたい。

■地域包括ケアシステムについて

質問 様々な生活課題を「自助・互助・共助・公助」の連携によって解決していく取り組みが必要だが、特に地域の助け合いである「互助」が最も重要だと思う。

回答 市内の一部の地区では、「防災」「減災」「高齢者の見守り」「子どもの見守り」などを、部会ごとに分担する取り組みが動き出したところもある。まだ資金もない状況だが、必要など



ころに予算を配分してもらえよう。執行部に要望していきたい。

■地域の賑わい創出について

質問 人口減少を食い止める要は、いかに地域の賑わいを創出するか。地域の夢実現事業は、地域の実情に合った有効な取り組みだと思ふ。議会の方でも、新たな発想を市に示してもらいたい。

回答 各地区で地域の特性に応じた様々な取り組みが盛んに行われている。議会として、それらを後押しできる活動をしていきたい。

■鹿沼市の営業戦略について

質問 積極的に市外にPRするため、都内に独自のアンテナショップを設置してはどうか。定住促進や観光、企業誘致などあらゆる面で大きな効果があると思う。

回答 本市のシテイブプロモーションは他市より弱い。議会として、戦略的なPR方策を提案できるような、アンテナショップと言う手法も含めて調査していきたい。

■野生鳥獣害について

質問 米作りをしていて、何より

も獣害に悩まされている。イノシシ獲りをしているが、シカやサルなどの被害も深刻。中山間地域の農業や生活を守るため、獣害対策の予算を拡充してほしい。

回答 市や国も毎年予算を増やしているが、被害の現状に追いついていない。防護柵や箱ワナの設置、土手の下草刈りなど、野生鳥獣を近づきにくくさせる対策もあるので、引き続き地域の皆さんの協力をいただきたい。

■空き家対策について

質問 若者が地区外へ流出することで地元には高齢者しか残らず、空き家が増加している。

回答 市では「空家等対策の推進に関する条例」を施行し、空き家バンクによる空き家情報の収集・提供や解体費用補助などの対策を進めている。まだスタートしたばかりであり、今後さらに空き家が増加することも懸念されるため、執行状況をチェックしていきたい。

■雇用確保について

質問 どの人口減少対策も市の東側向けの施策に思える。もっと西側の活性化を考えてほしい。



側は働ける場所も少なく、東側に企業誘致したのでは、若者は働く場所を求めて出ていってしまう。

回答 人口流出防止や企業誘致などのためには、道路や水道などのインフラ整備も欠かせない。議会として、執行部との議論に力を入れていきたい。

参加者の声

発言しているのはほとんど特定の人だった。多くの人の意見が聞けるよう、事前に質問や意見を募集した方がいい。

どんな議会活動がされているか普段はなかなか分かりにくいので、いい機会だった。

初めて参加したが、地域のいろいろな意見や要望が聞けて良かった。

参加者が自治会役員中心なので、もっと事前の周知をすべき。

今まで市政に関心がなかったが、議会に関する説明を聞いて、よく勉強したいと思った。

地元の議員以外の議員の話も聞けたので、貴重な機会になった。

議事を身近に感じることができた。開かれた議会として、直接説明や報告をしてもらうことは重要である。

地域の皆さんとの懇談は 私たち議員の基本です

広報広聴委員会
委員長 鈴木 敏雄

私たち議員の活動を知ってもらい、地域の皆さんの生の声を聴くため、平成24年度から議会報告会・意見交換会を開催しています。今年度は全17地区を回る計画で進めており、その前分として6地区で開催しました。夕方忙しい時間帯にも関わらず、どの地区でも多くの方にご参加いただき、大変ありがとうございました。地域の方々と懇談し、同じ視点で鹿沼の未来を考えることは、市民の代表である私たち議員にとつての基本であります。今回も、厳しいご意見や叱咤激励の言葉をたくさんいただきました。皆さんの声をできるだけ限り市政に反映させられるよう、今後の議会活動において真摯に取り組んでいきたいと思ひます。後期分につきましては11月頃の開催を予定しています。決まり次第、ご案内させていただきますので、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。



鹿沼に対する高校生の思いや希望を聴いてきました

特集 高校生との意見交換会



改正公職選挙法の施行により、選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられてから早2年が経過しました。来年9月には、引き下げ後初となる市議会議員選挙が予定されています。市議会では、当事者となる高校生に政治に関心を持ってもらうため、平成28年度から市内高等学校4校を回り、高校生との意見交換会を開催しています。

今年度は、政治参加に関する〇×クイズで緊張をほぐした後、グループに分かれ、「かぬまの良いところ・悪いところ」「就職・進学に当たってこれが心配」「市議会議員に望むこと」の3つのテーマについて、活発なやり取りが繰り返されました。その模様をお知らせします。



鹿沼高校



鹿沼南高校

鹿沼の良いところ

good!



- どこよりも早い花火大会、世界に誇る秋祭り、全国から参加者が集うさつきマラソンなどなど、イベントが充実している。
- 祭りがにぎやかで楽しい。
- 彫刻屋台など、歴史や文化に触れられる機会がたくさんある。
- 自慢できる特産物がたくさんある。

鹿沼の悪いところ

- おいしい蕎麦屋が多い。
- 地域の人々との交流が多い。
- あちこちで挨拶が飛び交っている。
- 大きな災害が少なく、生活に必要な物は手に入る。
- まあまあいろいろある。
- 東武鉄道で都内へ1時間半で行ける。
- 道が悪くて、段差が多い。狭くてすれ違いが大変。
- 見にくい曲がり角が多くて危険。
- 街灯が少ない。
- 夜、駅周辺が暗い。近くにコンビニやお店がない。
- バス・電車の本数が少ない。
- 買い物するところはあるが、遊べるところが少ない。
- 大きなショッピングモールがない。
- スポーツや運動ができる場所がない。
- 若者が集まる場所や参加できる行事が少ない。
- 自慢できるものがない。



【平成30年度開催状況】

開催日	学校名	参加生徒数
7月9日(月)	栃木県立鹿沼高等学校	45人
7月9日(月)	栃木県立鹿沼南高等学校	31人
7月13日(金)	栃木県立鹿沼東高等学校	37人
7月17日(火)	栃木県立鹿沼商工高等学校	45人

就職・進学に心配なよ

worry..



- 自分に合った、納得のいく仕事が見つけれられるか。
- やりたいことが決まっていな
- 2020年度から大学の入試制度が変わること。
- 経済面で不安。市の支援があれば、進学を選択肢も増える。
- 大学がないので、進学を機に鹿沼を離れることになる。
- 交通手段が限られるので、通える進学先・就職先の選択肢が少ない。鹿沼を離れて一人暮らしするしかない。
- 鹿沼で働きたいが、ここぞと
- 女性が興味関心を持てる会社が市内に少ない。

議員に望みたい

- どんな活動をしているか分からない。もっと情報発信した方がいい。
- 女性議員を増やしてほしい。
- 若者が議員に立候補するような環境をつくる。

●明るく元氣な議員が増えてほしい。

●バスの本数を増やす。特に朝夕の栗野方面からのバス。歩行者と自転車がつつからないよう、道路を区切ってほしい。

●鹿沼駅にレンタサイクルなど手軽に利用できる交通手段を備える。

●駅の周りに飲食店を増やす。

●公共の学習スペースを増やす。

●伝統を受け継ぐため、若者と高齢者の交流の場を設けてほしい。

●ポイ捨てが多いので、街中にもっとゴミ箱を設置した方がいい。

●いちご市以外のPRもした方がいい。新しいものを取り入れるべき。

●各高校の学校祭を、他地区にもPRしてほしい。

hope..



意見交換会の感想

- 率直な意見を言い合っことができ、いい機会になった。
- 議員と直接話す機会がなかったので、とても有意義な体験



だった。

●普段は鹿沼の良いところや議会について考えることはない

ので、とても良かった。これから社会の一員として貢献していけるよう、いろいろ考えられるようになった。

●初めて参加したが楽しかった。ぜひ次も参加したい。

●このような機会は、私たち高校生が地元についてより深く考えられ、地域デザインの勉強になる。

●今回のような学生との意見交換をもっと増やし、生の意見を聞いてほしい。

●全校生徒を対象にした意見交換会や講演会をやってほしい。



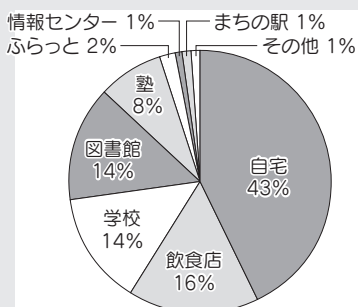
●議会に対する理解と関心を深められた。高校生だけでなく、より多くの市民を対象にして実施して欲しい。

●思っていることを言えて良かった。これからの鹿沼を楽しみにしている。

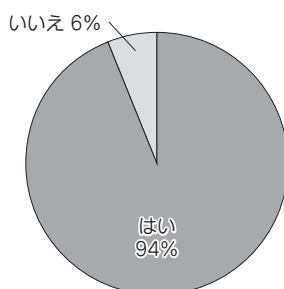
Happy!
KANUMA!!



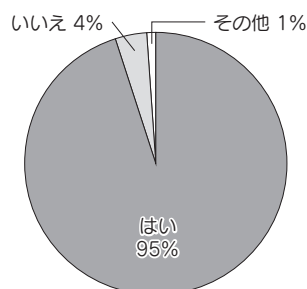
放課後の学習はどこでやっている?



政治や市議会への関心を深めたか?



参加して良かったか?



グラフで見る
参加者アンケート結果

市政を問う

島田 一衛 議員

東京オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザについて伺う



第2回定例会で14人が登壇
鹿沼市政について質問をしました。



質問

① プロジェクトの概要と今後の流れ
② 公募の詳細について伺う。

答 弁(市長)

県と日光市との連名で杉材を提供します。本市産材の品質の高さを全国にPRしていきます。

① 世界各国・地域からの選手の歓迎、交流の場として整備される選手村ビレッジプラザを日本全国の木材を集約して建設し、終了後使用した木材をリレーのように全国の提供地へ戻し、再利用するとうものです。昨年11月に提供自治体が決定され、本年9月までに実



施設設計を行い、来年6月に木材の調達が完了します。その後、建築に入り、2020年7月から9月までのオリンピック・パラリンピック開催期間中に使用され、12月から解体・返却となる予定です。返却される木材には、ビレッジプラザで使われたことがわかるよう表示がされるということです。

② 杉・ヒノキ・カラマツ等の国産材の提供を自治体単位で募集するものです。1口10立方メートル以上からの応募となり、森林認証を受けた森林から伐採され、森林認証を受けた事業所において製材加工されたもので、さらに日本農林規格・JAS規格の強度等をク

リアしたものに限られます。全国で62自治体の参加があり、本市は栃木県と日光市との3者連名により、柱やはりなどの構造材として杉材を提供します。

この機会を通して、市民の皆さんとオリンピック・パラリンピックのレガシーを共有するとともに、本市の木材の品質の高さを全国にPRしていきたいと考えています。

◆その他の質問事項

- 公園利用の促進と整備について
- 鹿沼市域おこし協力隊について
- 障がい者の就労支援について
- 煽り運転の対応・対策・罰則・啓発・周知について

鹿沼市営業戦略事業について伺う



質 問

いちご市KANUMAサポーターズについて、①制度の概要②事業効果について伺う。

答 弁 (総務部長)

全国的な取引実績がある市内の企業を認定することにより、連携して「いちご市」をPRします。

①鹿沼市に愛着があり、市外への露出や取引が多い企業を「いちご市KANUMAサポーターズ」として認定するものです。市と企業が相互に情報を共有し、オール鹿沼で連携して営業活動を行うことで、「いちご市かぬま」の認知度を向上させ

ることを目的としています。また、企業の営業活動の中で、本市の活発な経済活動や暮らしやすさをPRする機会を得ることにもなり、移住者獲得につながることも期待されます。認定基準は、全国的な取引実績があること、市内に本社・支店があることなどで、8月31日まで募集しています。

②企業側のメリットとして、市が提供するデザインやノベルティグッズなどを活用したり、市ホームページや広報などで認定企業として紹介されたりすることにより、地域貢献をはじめとした企業の社会的責任を対外的にアピールすることができま

◆その他の質問事項

○空き家対策について

を図っていきます。②まるごと博物館の経営及び企画運営、情報の集約を担う中核施設は、博物館活動を推進する上で必要不可欠であり、基本計画においては、文化活動交流館を中心としたエリアにその機能を設定しています。市民ニーズの高まりを踏まえながら、運営協議会において、その位置づけと整備のあり方について議論を深め、まるごと博物館ネットワークの構築を図っていきます。

まるごと博物館について伺う



質 問

まるごと博物館について、①市民への周知と理解②中心施設である文化活動交流館について伺う。

答 弁 (教育次長)

運営協議会を設置し、基本計画の推進を図るための具体的な取り組みを検討していきます。

①鹿沼まるごと博物館は、市域全体を屋根のない博物館ととらえ、従来の博物館資料はもとより、建物に収まらない有形・無形の地域資源を市民協働の博物館活動によって活用することを目指すものです。まるごと博物館に対する理解促進を図るため、

平成29年度から市ホームページに、鹿沼まるごと博物館の専用ページを開設し、情報発信を行っています。本年度は、まるごと博物館の対象となる施設などに掲示するシンボルマークを公募する予定です。また、鹿沼まるごと博物館基本計画の具体的な取り組みを検討するための「鹿沼まるごと博物館運営協議会」を7月に設置します。今後の進め方については、企画展示や各種講座、小中学校での出前講座等を継続して実施するとともに、モデル地区事業の展示会を開催するほか、これまでの成果を運営協議会において検証・協議し、計画の推進

◆その他の質問事項

○市内の賑わいづくりと経済活性化について
○防災について

鈴木 敏雄 議員

栃木デスティネーション
キャンペーンについて伺う



質 問

① 来年度に向けた取り組み② 春の彫刻屋台まつりについて伺う。

答 弁(市長、経済部長)

「春の彫刻屋台まつり」の来年度の開催に向け、関係者と協議してまいります。

① 栃木デスティネーションキャンペーンでは、平成31年度を「アフターDC(デスティネーションキャンペーン)」として、継続して活動を展開していく予定です。本市としても、アフターDCを観光客誘致の絶好の機会ととらえ、引き続きPR活動に努めるとともに、現在実施中の本DCの成果を踏まえ、今回企画された「いちご狩り、オリジナリティを磨き上げ、魅力向上を目指していきます。さらに、市内事業者との意見交換会を重ね、事業者同士のマッチングや事業企画のサポートを実施しながら、横根高原の自然を満喫できる企画など、新たな事業者も検討します。市と市民や事業者が一丸となつて取り組むことにより、DC後も継続的に地域に根づく観光素材の発掘・磨き上げに努め、地域の活性化、交流人口の増加を図っていきます。

② 本DCの目玉企画として開催した「春の彫刻屋台まつり」では、24台の彫刻屋台が参加するとともに、「いちご市鹿沼」をPRする「いちごみこし」パレードのほか、「いちごフェア」や「かぬまブランドフェア」を開催しました。その結果、4万7,000人の来場者があり、アンケートによるとほぼ100%の方が満足し、「秋まつりにも来たい」とのリピート意向を示しました。今後、来年度の開催に向けて、自治会や「鹿沼いまみや付け祭り保存会」など、祭り関係者の皆さんと協議していききたいと思います。

◆その他の質問事項

- ふるさと納税について
- こども総合母ポートセンターについて
- 児童生徒の体力・運動能力について

大貫 武男 議員

公共施設等総合管理計画について伺う



質 問

遊休施設の活用促進について、①用途廃止された市有施設の現状②今後の対策について伺う。

答 弁(市長)

「公共施設等民間提案制度」や「サウンディング型市場調査」により民間活力の導入を図ります。

① 公共施設等総合管理計画の対象である308施設中、用途廃止された施設は20施設です。そのうち、地元や団体等に貸し付けている施設が11施設、解体予定または解体中の施設が2施設、別の行政目的のために転用予定

の施設が2施設あり、残る5施設が現時点で活用用途が定まっていない遊休施設です。

② 遊休施設の活用は、全庁的な課題としてとらえており、用途廃止時には、地元の意見を伺いながら、活用も併せて検討することとしています。活用策がない場合は、解体・売却のほか、民間活力の導入を図っていきたくと考えています。具体的には、今年度から運用開始しました「公共施設等民間提案制度」により対応するものとし、その総合窓口として、公共施設活用課を位置づけています。閉校後の

◆その他の質問事項

- ふるさと納税について
- こども総合母ポートセンターについて
- 児童生徒の体力・運動能力について
- 営業戦略課の充実対策について
- 西北部中山間地の振興対策について

◆その他の質問事項

- 営業戦略課の充実対策について
- 西北部中山間地の振興対策について

学校教育について伺う



質 問
児童生徒の登下校時の負担軽減について伺う。

答 弁（教育長）
学校と連携し、登下校時の荷物の軽量化により児童生徒の負担軽減を図ります。

各学校では、軽量化や登下校時の安全面、機能性などを考慮して、かばんを選定しています。また、教科書・ノート・資料集・ファイルなどについては、「学校に置いていってよいもの」を設定し、登下校時の荷物が多くなりすぎないように配慮しています。中学校においては、安全面から荷物も荷物は荷台に縛るように指導

しており、自転車のハンドル操作などに支障を来さないようにしています。さらに、剣道の防具等や楽器などについては、保護者に移送を依頼するなど、児童生徒の登下校時の負担軽減を図っています。

かばんの重さについては、現在学校のほうでもいろいろな意味でできるだけ軽くできるような取り組みも行っていますが、現状で重いというような指摘もいただいたので、今後は、学校でもそういった視点から、ぜひ軽減に向けて取り組んでもらいたいと思っています。例えば、宿題については、ノートにやっ

てくるのではなく、プリントを配布する形にすることで、その分軽くすることができます。

また、学期の初めや終わりの時期においては、学校に置いておく、又は置いてあったものを当日一遍に持ち帰ったり、持って来たりするというのではなく、ある程度の期間幅を持たせて持ち運ぶことで分散化することができるとも思います。今後も、学校のほうと連携を図りながら取り組んでいければと思います。

◆その他の質問事項

- 新庁舎について
- 都市計画について
- 空き家付属の農地について

農福連携について伺う



質 問
①具体的な取り組み②今後の計画③いちご農家の活性化策について伺う。

答 弁（経済部長）
障がい者の特性について理解を深めてもらうことが大切です。今後、支援体制を構築していきます。

①昨年度から、市内の中山間地域において新規作物であるマカ栽培に取り組んでいます。その作業の一部を農福連携事業として取り組むべく、本年1月に設置した「鹿沼市マカ農福連携庁内連絡会議」において、現在福祉事業所の募集などを検討しているところです。また、栃木県の農業者と障害者福祉施設等をつなぐマッチ

ング事業において、本市の梨栽培農業者1名が市内障害者就労支援事業所と契約を結びました。現在、市では、市内の認定農業者465名に対し、連携の意向や提供できる作業がないか、意向等調査を行っているところです。

②マカを用いた農福連携事業に取り組んでいくための提案書を福祉事業所と農業者双方に向けて作成・提示し、双方の仲介を行う予定です。課題としては、単に農業者と福祉事業所の求めに応じた情報提供だけでは、双方が期待する結果と乖離してしまうことが考えられます。そのため、農業者側には、障がい者の個々人の特性に

ついて理解を深めてもらうことが重要と考えています。今後、問題点や課題を整理し、支援体制を構築していきたいと考えています。

③いちごに関する農福連携事業の事例としまして、真岡市で出荷用いちごを入れる箱折り作業、栃木市でジャム用いちごのへた取り作業を委託しております。本市でも、意向等調査の結果を踏まえ、いちご農家で障がい者等がかかわれる作業について、関係団体と連携し、検討を進めていきたいと考えています。

◆その他の質問事項

- 学校教育について
- 総合教育会議について
- 環境クリーンセンターについて

消防施設について伺う



質 問

①旧栗野分署の今後の在り方②火の見やぐらの整備状況③車両・ポンプ・資機材の管理状況について伺う。

答 弁(消防長)

火の見やぐらについては、安全性の高い乾燥塔に随時更新しています。

①平成25年6月の新築移転後は、アナログ波無線の前進基地局として利用していましたが、平成28年4月のデジタル波無線の運用開始に伴い、その役割を終えたため、同年10月に普通財産に切り替えました。現在は、車庫部分を地元業者に賃貸しています。建物自体は築後45年が経過し、老朽化

が進んでいますが、使用可能な間は引き続き民間活用を継続していきたいと考えています。

②現在、本市には47基の火の見やぐらが設置されており、ホース乾燥やサイレン吹鳴のため使用しています。維持管理のために年1回、全分団の車庫及び施設の調査を実施しており、腐食や破損等の異常を確認した場合には、現状確認の上で塗装や修繕を行っています。平成28年3月に策定した「鹿沼市消防団組織再編計画」に伴う車庫更新の際には、従来型の火の見やぐらではなく、安全性の高いポール式の乾燥塔に随時更新しています。

③団員による月1回以上の点

検確認、本部分団長と消防職員合同による年1回の全分団車庫調査などを実施し、故障や破損等の異常を発見した場合には必要な改善策を講じ、有事の際に迅速に対応できるよう努めています。4月中旬に、真岡市内の消防団の詰め所6カ所から発電機4台が盗まれるという事件がありました。これを受けて直ちに緊急点検を行い、異常がないことを確認しました。今後も、盗難防止対策の徹底を図っていきます。

◆その他の質問事項

- 土砂、洪水災害について
- 生活排水の処理について
- 職員の業務への取り組みについて

地域公共交通システムの充実に伺う



質 問

南摩地区への予約バス(デマンドバス)導入について伺う。

答 弁(市民部長)

関係者との協議結果を踏まえ、栗野地域予約バスのエリアを拡大する形で取り組んでいきます。

本市では、平成21年度より、地域特性に合った公共交通の構築のため、予約バスの運行を開始しました。現在、予約バスは、栗野地域4台、北押原・南押原・北大飼地区2台、板荷・菊沢地区1台、松原地区などで1台、計8台が運行しています。南摩地区では、リーバスが南摩線、口粟

野線、上粕尾山の神線、入粟野上五月線の4路線が運行しています。本市では、市民のニーズに応えた公共交通を確保するとともに、財政負担の軽減を図るため、平成29年3月に「鹿沼市地域公共交通網形成計画」を策定しました。本計画では、「市民が安心して利用できる『生活の足』を確保する」という基本理念を掲げ、この目的を達成するため、推進事業として「予約バス運行のない地域への予約バスの導入の検討」を初め、「利用を喚起する広報・周知活動」や「運転免許自主返納支援事業」など8事業を位置づけ、積極的な事業展開

を図っています。南摩地区への予約バスの導入については、地域住民から現在のエリアを拡大してほしいとの要望もいただいていることから、導入に向けて、運行業者やタクシー会社など業界の関係者と協議を進めているところです。今後、地域公共交通活性化協議会に諮り、そこでの検討結果を踏まえた上で、隣接する栗野地域予約バスのエリアを拡大する形で、段階的に取り組んでいきたいと考えています。

◆その他の質問事項

- 新庁舎整備基本設計方針について
- 世論調査の実施について

子育て環境の充実について
伺う



質問
一時保育・一時預かりについて、①前年度の利用実績②断った件数と理由③他市の状況④今後の強化策について伺う。

答 弁（こども未来部長）
公立保育園の拠点化、専任保育士の配置により、常に受入可能な体制を整えていきます。

①一時保育は、保育所等に通っていない乳幼児を保護者の急な就労や疾病、けが、出産、介護、リフレッシュ及び冠婚葬祭等の理由により、家庭で保育することが一時的に困難となった場合などに、保育園等で一時的に預かって保育を行う事業です。平成29

年度は、「入所までのつなぎ」によるものが1,297人で最も多く、次に「出産や育児、求職活動」が697人、「リフレッシュや用事」が384人、「保護者の疾病等」が131人、「冠婚葬祭」が5人で、合計延べ2,514人が利用しています。

②把握できた範囲で85件で、「利用定員に達している」や「園の行事と重なった」、「申し込みが急だった」などが主な理由です。

③県内14市のうち、保育所等で一時保育を実施しているのは、本市を含め12市で、そのうち公立保育園で専任の保育士を配置しているのは、足利市など4市です。このほか、宇都宮市など3市で、商業施設等において民間事業者へ

の委託等により一時預かりを実施しています。

④各保育園において、現在の受け入れ体制を堅持するとともに、公立保育園については拠点化し、専任の保育士を配置することにより、常に受け入れできるような体制を整えていきたいと考えています。申し込んだ保育園での受け入れが難しい場合は、引き続き、ほかの受け入れ可能な保育園や認可外保育施設、鹿沼ファミリーサポートセンターなどを紹介して対応していきたいと考えています。

◆その他の質問事項
○女性等に対するあらゆる暴力の根絶(DV基本計画)について
○男女共同参画の推進について

いちご市かめまのイメージ
アップ推進について伺う



質問
おもてなしの取り組みについて、①本市のイメージアップ②観光客へのおもてなし③いちご関連施設の整備状況について伺う。

答 弁（市長）
いちごを最大限に活用した「おもてなし」に取り組んでいます。

①交流人口の拡大を図るには、来訪者への「おもてなし」は重要な要素です。本市では、いちごデザイン看板が出迎え、いちごのバスで市内を巡り、品質の高いいちご商品を提供するなど、いちごをメインに据えたシテイプロモーションを展開しています。

②市内4カ所ある観光いちご園での摘み取り体験のほか、今年2月に開催したいちごマインのイベント「いちごもり」、3月の首都圏からの「ひがしんわいわいツアー」参加者へのおもてなし、4月の「春の彫刻屋台まつり」でのいちご配布、「いちごみこし」いちご屋台のパレード、「いちごフェア」、5月のさつきマラソンでの補給いちごによるおもてなしなど、本市の様々な観光資源の中でも、いちごを最大限に活用しています。

③花木センターでは、平成29年度にハウス2棟を増設して計5棟とし、摘み取り体験及び土

産用いちご販売の拡充を図っています。出合いの森いちご園には、本舗ハウス29棟、育苗ハウス13棟などが整備されており、観光いちご摘み取り園としてだけでなく、いちご新規就農支援として研修用ハウスを整備し、研修生の指導も行っています。課題として、花木センターを一年中利用してもらえようように、夏秋いちごの栽培に取り組みむことが必要と考えています。

◆その他の質問事項
○新学習指導要領による情報教育について
○花木センターの運営について

高齢化対策について伺う



質 問

介護予防について、①平成29年度の介護予防教室等の実施状況②オーラルフレイル対策について伺う。

答 弁 (保健福祉部長)

65歳に到達した国保被保険者を対象に、オーラルフレイルに着目した独自の歯科検診を実施します。

①筋力トレーニング、口腔機能のチェック、食事と栄養、こころの健康についての講座など、介護予防のための生活の実践につながる介護予防教室を10回、加齢による筋力の低下を防ぐための講義、ストレッチ、筋力トレーニングなどの転倒予防教室を11回、認知症に関する知識を学び、併せて

認知症サポーターの養成も行う認知症予防教室を10回、それぞれ実施しました。また、これまでの認知症予防教室受講者を対象とした継続教室を12回実施しました。このほか、健康マイジャン教室、ほっとホームやほっとサロンへの講師派遣や出前講座などの普及啓発を行っています。

②オーラルフレイル(口腔機能の虚弱化)は、食欲の低下や栄養状態の悪化をもたらし、それが全身的な機能低下を招く原因となるものです。本市では、介護予防教室における口腔機能のチェック、出前講座による意識啓発などの対策を行っています。また、昨年度は、鹿沼歯科医師会との

共催で「フレイル予防」についての市民公開講座を実施しました。健診については、鹿沼歯科医師会の協力により、75歳に到達した後期高齢者医療保険の被保険者に対し、歯科健康診査を自己負担なしで実施しています。さらに今年度から、国民健康保険で65歳に到達した高齢者を対象に、オーラルフレイルに着目した独自の歯科健診事業を実施する予定で、鹿沼歯科医師会とともに準備を進めているところです。

◆その他の質問事項

- 空き家対策について
- 新庁舎整備について
- PPP・PFIの導入について
- 上・下水道について

自転車利用環境の整備、向上について伺う



質 問

①自転車活用推進法への対応方針②ハード面の環境改善③観光誘客について伺う。

答 弁 (総務部長)

サイクルステーションの整備は有効な観光振興策です。で、今後検討していきます。

①この法の目的は、自転車活用によるCO₂削減、健康増進、公共交通機関との連携、地域振興などを総合的に推進するものであり、「自転車活用推進計画」の策定に努めることとなります。本市としては、積極的に情報収集した上で対応を検討していきます。

②現在の取り組みとして、昨年度から鹿沼南高前の市道の一部区間で、カラー舗装による自転車専用通行帯の設置を進めているほか、現在整備中の鹿沼駅東通りで、同通行帯の設置を計画しています。今後も同通行帯などの整備を検討していきますが、自転車専用道路の整備は考えていません。

③近年本市にも多くのサイクルリストが来訪しており、先日開催された「サイクルロゲイング」も大変な人気でした。このため本市では、出会いの森総合公園など5カ所にスポーツサイクルスタンドを設置し、自転車利用者の利便性向上を図っています。さらに、鹿沼商工会

◆その他の質問事項

- 悪質クレーム対策について
- 地域包括ケアシステムの構築について

副市長の選任

新副市長が選任されました。(議案第42号)
 福田 義一 (ふくだよしかず・引田)



人事 (敬称略)

人事案件が議決されました。(議案第43~47号)

情報公開・個人情報保護審査会委員

- 直井 勇 (なおいいさむ・宇都宮市)
- 杉原 弘修 (すぎはらひろのぶ・宇都宮市)
- 大貫 良明 (おおぬきよしあき・下沢)
- 関口 昌江 (せきぐちまさえ・久野)
- 鈴木 節也 (すずきせつや・磯町)

▶用語解説「情報公開・個人情報保護審査会委員」

情報公開・個人情報保護審査会は、情報公開制度及び個人情報保護制度における市民からの不服申し立て及び両制度の運営に関する重要事項について、実施機関からの諮問に応じて審査・審議し、答申をする機関であり、市長が議会の意見を聞いて委嘱する5人以内の委員で組織される。委員の任期は3年。

請願・陳情の結果

1件の陳情が審査されました。結果は次のとおりです。

- 陳情第1号 3月14日第3回かぬま魅力向上特別委員会秘密会の取り消し、謝罪、処分を求める陳情 閉会中の継続審査

請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に実情の善処を要望することです。

そのうち議員の紹介があるものは請願になります。
 A4版、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

<p>請 願 書</p>	<p>件名 ○○○○について 要旨 ○○○○の△△に關する 理由 ××を要望します。 ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○</p> <p style="text-align: center;">平成○年○月○日 鹿沼市議会議員様</p> <p style="text-align: center;">請願人代表 鹿沼市○○町○○番地○ 鹿沼 太郎 印</p>
<p>紹介議員 今宮 三男 氏 名 鹿沼 太郎</p>	

文化ゾーンの再整備による文化商業観光空間の創出について伺う



質 問

文化ゾーンと黒川河川敷公園の一体的再整備による拠点づくりについて伺う。

答 弁(市長)

現時点で再整備の考えはありませんが、今後も引き続きエリアの活用を検討していきます。

図書館を中心とする文化ゾーンのエリアにおいては、「清流に集うやすらぎの文化ゾーン構想」の重点整備地区として、帝國繊維株式会社工場跡地を活用し、川上澄生美術館、図書館、商工会議所、法務局等の公共施設を含む整備を行ってきました。背景としては、帝國繊維株式会

社が使用した石蔵の保存と活用をきっかけに、市民の生涯学習や芸術文化への関心の高まりに応える活動の場を提供するとともに、高度情報化社会や少子高齢化における市民生活を支援するための機能を持つ拠点づくりを行ったものです。また、経緯としては、平成8年に「文化ゾーン整備基本計画」を策定し、翌年度の市民情報センター整備を皮切りに、平成14年度の文化活動交流館の完成を経て、現在に至っています。

このエリアは、歴史的遺産である石蔵を中心に図書館、美術館などの文化施設、市民情報セ

ンターや商工会議所、ハローワークなどの公的施設及び隣接する商業施設とともに、市民が憩える魅力的な地区となっております。現時点では具体的な再整備の考えはありませんが、鹿沼の歴史を生かした文化ゾーンとしてこのエリアを活用していくことは、誘客の一つのツールとしても大変可能性の高いところだと思っています。次につながる投資として、今後も引き続き検討していきたいと考えています。

◆その他の質問事項

- 職員採用について
- 市政に関する世論調査について
- 新庁舎整備について

市長提出議案16件が提出されました。

議員数23名、表決参加議員数22名（議長は表決には加わりません。）

全議員が賛成した議案【可決】

専決処分事項（平成29年度補正予算）

議案32 平成29年度鹿沼市一般会計補正予算（第5号）について

歳入については、市税、地方消費税交付金、地方交付税、国庫支出金、諸収入等の増減額を計上し、歳出については、財政調整基金積立金、障害者自立支援事業費、生活保護扶助費、中小企業経営対策事業費、地方債償還利子等の増減額を計上したもので、この補正額を6億6,830万9千円の減とし、予算総額を386億8,109万5千円とするものです。

議案33 平成29年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

歳入については、国民健康保険税、国庫支出金、共同事業交付金等の増減額を計上し、歳出については、一般被保険者療養給付費、国民健康保険準備積立基金積立金、保険財政共同安定化事業拠出金等の増減額を計上したもので、この補正額を7,550万6千円の減とし、予算総額を136億4,715万3千円とするものです。

議案34 平成29年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計補正予算（第3号）について

歳入については、繰入金、諸収入、市債の増減額を計上し、歳出については、下水道処理施設整備事業費、地方債償還利子の減額を計上したもので、この補正額を333万7千円の減とし、予算総額を22億9,409万3千円とするものです。

議案35 平成29年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について

歳入については、後期高齢者医療保険料、繰入金、諸収入の増減額を計上し、歳出については、健診事業費、後期高齢者医療広域連合納付金等の増減額を計上したもので、この補正額を501万円の減とし、予算総額を10億907万5千円とするものです。

専決処分事項（条例の一部改正）

議案36 鹿沼市税条例等の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い、土地の固定資産税に係る負担調整措置の延長、たばこ税における税率の引上げ及び加熱式たばこに係る課税方式の見直し等を行うためのものです。

議案37 鹿沼市都市計画税条例の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い、土地の都市計画税に係る負担調整措置の延長等を行うためのものです。

議案38 鹿沼市国民健康保険税条例の一部改正について

地方税法施行令の一部改正に伴い、低所得世帯に対する国民健康保険税の減額措置が適用される納税義務者の範囲を拡大するためのものです。

議案39 鹿沼市税条例の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い、中小事業者等が取得した先端設備等に係る固定資産税の課税標準の特例を定めるためのものです。

議案41 鹿沼市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件の拡大等を行うためのものです。

議案40 鹿沼市農村地域工業等導入地区における固定資産税の課税免除に関する条例の廃止について

農村地域工業等導入促進法の一部改正に伴い、農村地域工業等導入地区における固定資産税の課税免除制度を廃止するためのものです。

議案43～47 鹿沼市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について

（13ページをご覧ください。）

条例の一部改正

条例廃止

人事



その他の議案【可決】

議案42 鹿沼市副市長の選任について
（11ページをご覧ください。）

- 【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄
- 【自由民主党】 増淵靖弘・横尾武男
- 【経世会】 石川さやか・館野裕昭・小島 実湯澤英之
- 【無所属市民クラブ】 加藤美智子・大島久幸 大貫武男・船生哲夫
- 【親悠会】 市田 登・谷中恵子
- 【自民党クラブ】 鈴木 毅・津久井健吉 赤坂日出男
- 【日本共産党】 阿部秀実
- 【無所属】 佐藤 誠
- 【民主クラブ】 島田一衛・大貫 毅

賛成

不参加

【自民党クラブ】 鯉原一男



市長提出議案1件
表決参加議員数19名

議案48 工事請負契約の締結について

鹿沼市立北小学校校舎耐震改修工事（建築工事）の事後審査型条件付き一般競争入札を去る7月5日に行い、その結果、神谷・山和特定建設工事共同事業体が9億7,588万8千円で落札したので、本契約を締結するためのものです。
（15ページをご覧ください。）



～まだまだ現役続行します！～ 北小学校の耐震改修を行います。

■議案第48号 工事請負契約の締結について

昭和10年の建築から80年以上が経過した今も、国内最大級の現役の木造校舎として使われている鹿沼市立北小学校。その温もりは、児童の情緒を豊かにし、地域の人たちに安らぎを与えています。

そんな鹿沼市の宝である北小学校校舎ですが、今後も活躍を続けてもらうため、これまで耐震診断・技術検討・設計と進めてきた耐震改修工事を実施することになりました。

工事期間は平成30年度から32年度までの3年間で、初めに仮設校舎を建設した後、筋交いや梁の増設、金物補強などにより、現校舎の耐震補強を行います。併せて、トイレの洋式化や照明器具のLED化、一部棟の改築を行うことにより、使用する児童らの利便性の向上、温室効果ガス排出量の削減、防火性能の向上を図ります。

これにより、北小学校の耐震改修後の構造耐震指標は国が定める基準1.1を上回ることになり、本市小中学校施設の耐震化率は100%を達成することになります。



築83年を迎えた鹿沼市立北小学校

新議長の紹介



鹿沼市議会議員 大島 久幸

新議長が就任しました。

6月25日に関口正一前議長が辞職したことに伴い、同日に議長選挙を行った結果、新議長に大島久幸議員が選出されました。

【就任のご挨拶】

この度、議員の皆さまよりご信任をいただき、第42代鹿沼市議会議長に就任いたしました。市制施行70周年の記念すべき年に議長という重責を賜り、改めて責務の重さを心から感じているところであります。

さて、現在最も深刻な問題は何かと問われれば、私は、急激な人口減少社会に突入したことで様々な社会問題が起こってくるのだと答えます。少子高齢化と生産人口の減少は、消費活動や経済活動に影響し、ひいては税収の減少につながります。しかし、一方で、子育てや介護・医療といった社会保障費は増大する傾向にあります。今までのように、あれもこれもできるような潤沢な予算は組めませんから、必要なところを取捨選択しながら、市民の安全安心を守り、住んで良かったと実感できるまちづくりを目指したいと考えています。市議会といたしましても、市政に対するチェック機能をしっかり果たし、自己改革・議会改革を行い、議会の可視化に努め、市民に開かれた議会をさらに進めてまいります。

また、新庁舎整備につきましては、より良い庁舎建設のため、市民と共に適切な整備計画を推進してまいります。

今後とも、市民の皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげ、就任に当たってのご挨拶とさせていただきます。

議会からの **お知らせ****全国市議会議長会から表彰を受けました！**

市政発展に貢献した長年の功績により、本市の3名の議員が全国市議会議長会から永年勤続者表彰を受けました。



船生 哲夫 議員
議員30年以上特別表彰



谷中 恵子 議員
議員10年以上表彰



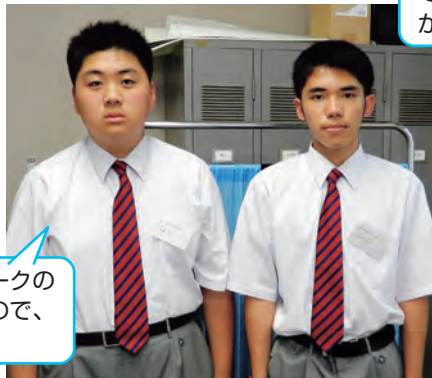
津久井 健吉 議員
議員10年以上表彰

高校生が議会事務局の仕事を体験しました！

7月3日(火)から6日(金)までの4日間、栃木県立鹿沼商工高等学校商業科の生徒2名をインターンシップ実習生として受け入れました。

2人には、会議資料の準備や本会議音源データの文字起こしなどの事務を体験してもらいました。

資料準備や記録作りなど、デスクワークの基本となる作業をやらせてもらったので、とてもいい経験になりました。



細かい事務作業の繰り返しは時間も掛かって大変でしたが、ミスなくできた時はやりがいと達成感を感じました。

**議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～**

8月	9月					
月	火	水	木	金	土	日
8/20	21	22	23	24	25	26
10:00 議会運営委員会						
27	28	29	30	31	9/1	2
10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明						
3	4	5	6	7	8	9
		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問		
10	11	12	13	14	15	16
		10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会			
17	18	19	20	21	22	23
		10:00 決算特別委員会	10:00 決算特別委員会			
24	25	26	27	28	29	30
	9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第5日) 採決					

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページをご覧ください。また、または議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

新庁舎整備基本設計に対する意見を提出

7月27日、新庁舎整備基本設計に対する市議会としての意見を市長に提出しました。議会ではより良い新庁舎整備に向けた提言を行うため、市担当部局から説明を受け、各党派等で議論・検討を重ねた上で、今回の意見をまとめました。

提出に当たっては、正副議長から市長へ、今後示される新庁舎の基本設計(案)に意見が反映されるよう要望しました。

**表紙の写真は**

6月4日、定例会の開会に当たり、アルパ奏者の中山友里子氏をお迎えして、議場コンサートを開催しました。

アルパとはスペイン語でハーブを意味し、ラテンアメリカ、特にパラグアイで用いられている民族楽器です。議員も傍聴者の皆さんも、本会議を前に、その明るく輝くような音色にうっとり聴き入っていました。